

御前^江被召上其御盃御銚子^二載之中段四疊目御酌扣有之時對馬守出座頂戴之復座之時吳服臺出之上より^{五疊目}^二出座^而頂戴之三人頂戴之内數土器出

之大澤右京太夫右着座順々頂戴之畢^而御銚子入御引渡取之退去數之土器は其假置之御酌大沢右京太夫御加畠山民部太輔^而御前^二有之數之土器^二被召上之

其御盃御銚子載之下段上より^二一疊目御酌扣有之時有馬中務太輔織田伊豆守松平肥前守右太刀目録持參下段敷居之内^二置之掾類^二御札御盃頂戴之吳服廣蓋^二拜領之御銚子入下段東櫓戸河内守開之御次之間^二諸大名^并無官高家昨日相殘御番衆三千石以上太刀目録前^二置之一同御札重^而上段御着座御引渡御土器^二上松伊勢守御酌同人御加由良信濃守^二御前^江被召上其御盃銚子載之中段^二御酌替御酌酒

井老岐守御加能勢出雲守下段^二一疊目^二御酌扣有之時諸太夫之面々御流吳服臺頂戴之過^而御銚子入無官之高家吳服拜領之重^而五銚子出之如昨日御流頂戴之入御之節大廊下連哥師無官医師吉川惟足進物前^二置之御札御黑書院御次之間^二御代官衆御大工頭狩野探信同探雪御掾類諸職人進物捧之御札御奏者番披露之

大廣間於三之間在國之面々名代使者太刀目録献上之老中列座奏者番兩人披露之

三日

辰下刻御白書院^二出御長袴御刀朽木和泉守上段御着座松平元千代宗右京太刀目録持參御札櫻之間敷居際立御櫻之間大廊下^二無官之面々數多太刀目録前^二置之御札河内守披露之後座井伊伯耆守榊原式部大輔奥平小次郎等之家老太刀目録前^二置之御札奏者番披露之下段東之御敷居際^二立御御次之間^二千人頭御連歌之間於落掾紅葉之間南面^二落掾^二進物并置上京下京大坂奈良伏見大津長崎淀過書銀座朱座大黒長左衛門當所町年寄同惣町中數千人込居一同御札奏者番兩人披露之

御連歌之間岩松小次郎樽代を以御札入御

於御座之間劔術御始有之柳生對馬守へ時服三被下之同夜御謡始之次第

酉刻大廣間出御^{御長袴}御刀^{渡辺安藝守}中段御着座尾張中納言殿水戸宰相殿出座河内守披露之直御下段御向^二着座此時御次之間着座南面牧野駿河守北之方松平佐渡守

初献御盃内藤上野介御引渡能勢出雲守御捨土器滝川相模守

尾張殿水戸殿へも御引渡出之御次着座^江も足打^二引渡出之尾張殿給仕永見甲斐守水戸殿給仕仙石丹波守遠江守給仕野々山彦右衛門佐渡守給仕本多三右衛門御酌酒井老岐守御加三枝對馬守御前^江被召上御加は御盃三方^二載之下段上より四疊目^二御酌有之時

尾張殿出座頂戴之加有之^而御次之間^江被持退時酒井河内守取之三方^二載之御酌へ渡之御前^江被召上時中座有^而御札右之席^二水戸殿頂戴之帰座之時明三方引之朝岡權三郎御酌小堀下総守御加永見甲斐守水戸殿前^二置之盃水戸殿取之手^二載之次着座之面々へ南方より盛之御銚子入

二献御盃朽木出雲守御吸物御引渡引替能勢出雲守右着座へも吸物出之御酌^{内藤上野介}御加^{稲垣市正}御前^江被召上其御盃三方^二載之右之席^二水戸殿頂戴加有之御次之間^江被持退時河内守取之三方^二載之御酌

江渡之御前^江被召上時中座有^而御札其御盃尾張殿頂戴之復座之時三方引之小出新十郎御酌松平主計頭御加水野備後守尾張殿前^二有之盛御酌取之手載之御次着座此度は北方より盛之御銚子入御吸物取之御次着座兩人は膳を持退座

三献路之臺^{内藤上野介}御星物^{三枝對馬守}御酌^{酒井}

老岐守^{能勢出雲守}御加^{能勢出雲守}御前^江被召上時河内守出席可謡之旨傳之時觀世太夫四海波之小謡^{（ははのうたに思）}之御加被遊其盃臺野載之右之席^二尾張殿頂戴之御星物被遣之加有之^而御次^江被持退之時河内守取之臺載之御酌へ渡之此間^二老松之御囃子始之御前^江召上時中座有^而御札其御盃水戸殿頂戴之席御作

法右同断明臺引朝岡權三郎御酌小出下野守御加永見甲斐守水戸殿前^二有之盃御酌取之御通^二成此間^二御三人方より進上之臺持出之河内守披露之御座之御右^二置之館林殿甲府殿より進上之臺は出御已前より御左^二置之

四献御酌^{朽木和泉守}御加^{瀧川相模守}

尾張殿より進上之臺^二被召上其盃臺之載之右之席尾張殿頂戴之復座之時明臺引御酌小堀下総守御加岡部阿波守尾張殿前^二有之盃御酌取之御通^二盛之但最前之御通五疊目^二下り此度御銚子四疊目^二居^二銚子^二盛之此間^二諸大名より進上之臺持出之河内守披露之

五献御酌^{内藤上野介}御加^{堀山城守}水戸殿より進上之臺^二被召上之水戸殿頂戴之帰座之時明臺引御酌本多頼母御加松平主計頭水戸殿前^二有之盃御酌取之御通^二盛之最前之下座一銚子入如前二銚子^二無断絶盛之

六献御酌^{酒井老岐守}御加^{三枝對馬守}紀伊殿より進上之臺^二被召上之其御盃銚子^二載

下段^二一疊目御酌扣有之時松平讃岐守右被下旨河内守傳之讃岐守敷居之外^二伺公頂戴之其御敷居之上^二置之退去御酌替^ル御通盛之

七献御酌^{朽木和泉守}御加^{能勢出雲守}館林殿より進上之臺^二被召上之藤堂和泉守^二被下之席作法同断御酌代御通盛之

八献御酌^{内藤上野介}御加^{稲垣市正}甲府殿より進上之臺^二被召上松平大和守被下之御作法右同断御酌代^ル御通^二盛之

九献御酌^{酒井老岐守}御加^{滝川相模守}右同臺^二被召上之松平出羽守被下之御作法右同断御酌代^ル御通盛之高砂之御銚子過御通之二銚子一同^二入河内守御縁^二出白綾之小袖一重宛千足折紙三太夫^江被下之二百疋宛之折昏惣猿樂^江被下之奏者番兩人渡之

十献松竹之臺^{朽木和泉守}御酌^{酒井老岐守}御加^{能勢出雲守}

御前^江被召上御扣之時三太夫拝領之小袖を着一度^ニ弓矢之立會舞之終^而御加被遊御銚子入河内守御着衣取之敷居際へ持出觀世^ニ被下之何も肩衣可脱之旨傳之各脱之畢^而兩卿御會釈被遊入御伺公之面々退散也

老松 觀世太夫 市郎兵衛 惣右衛門 市右衛門
東北 保生太夫 九郎兵衛 八郎右衛門
高砂 七太夫 九郎次郎 左吉 清次郎 庄兵衛

弓矢立合 介五郎 新右衛門 甚之丞

一 今夕御次之間着座之儀牧野駿河守松平佐渡守兩人初^而被仰付也

四日

伊東半十郎昨夜死

五日

六日

已刻御白書院 出御御装束御太刀酒井老岐守御釵内藤上野介上段御着座

三東二卷

右酒井河内守披露之

一東一卷

一東一本

増上寺方丈^{註雄}

小石川

傳通院

大光院

最勝院

宝松院

天徳寺

大養寺

本誓寺

誓願寺

白玄圓岡

廣度院

林松院

源興院

東海寺

右奏者番披露之
一東一本

一 大廣間出御御上段御着座下段前^ニ進物並置獨礼之

出家数百人込居板掾^ニ神主社人進物前^ニ置一同御礼畢^而御帳臺^ニ入御此間^ニ獨礼之面々退去進物布衣

之面々引之下段東之襖戸開之敷居際^ニ立御御次之間^ニ惣礼之諸出家前一通^ニ進物並居板掾^ニ神主社人山伏

数十人込居一同^ニ御礼奏者番披露之

入御之節御白書院御縁類^ニ千人頭春木太夫山本太夫徳川萬徳寺伊勢因幡進物前^ニ置御通懸御礼奏者番披

露之

一 今日御規式之内大廣間四之間大御番百人烏帽子素袍^ニ御勤也

七日

一 餘寒甚敷付^而為御養生御表 出御無之

為七種御祝儀御兩殿御三人方松平讀岐守登 城御目見は無之

京都御名代 日光十七日御名代 御名代

大澤右京太夫 吉良上野介 永井信濃守

右被仰付之

一如例年繪師へ時服被下之

一 七種之御棕酒井河内守勤之

一 狩野永真^江時ふく三紅裏養朴探信洞雲^江時服ニツツ被下之

八日

九日

地震

十日

十一日

御白書院出御御長袴 御刀稲垣市正

如例年御具足御祝儀有之御役替有之

御禮奉行 長崎奉行 河野權右衛門

御持簡頭

松平介之進跡

火消 堀田五郎左衛門跡

御先手鉄炮頭 森川小右衛門跡

同断 新庄惣兵衛跡

但三百俵御加増

火消役

堀田五郎左衛門

寄合 三枝右近

御歩行頭 松平内蔵介

小姓組 石川市正組

夏目藤右衛門

右被 仰付之

一 御連歌御興行有之

千代のまつや千枝手ちしほの春の色 昌 陸

あたたかならし作る鶴の巢 御 仍 春

仙人の宿かと永き日のさして 昌 純

問よま門の竹^ミとりなり 其 阿

雨とむや晴わたりたる河橋に 周 英

駒にかふへき水の涼しさ 昌 倫

さされ踏行衛は波の月みえて 信 祐

■のひまひまなひくむら菅 昌 伴

木の下につゆ結市松の風 好 時

まぐらの山のゆふへふかしも 清 長

越のこる閑洛の末ははるかにて 昌 敦

帰りみのち■にゆるさとの元 執 筆

通れにし世も思むる折々に

一 五ヶ所之町人御暇白銀如例被下之

十二日

於評定所式日大久保加賀守出座重^而式日畧之

二万石御加増 酒井雅楽頭

一万五千石御加増 稲葉美濃守

一万石御加増 大久保加賀守

月番加判御免 稲葉美濃守

金十枚時服三羽織 御暇 大沢右京太夫

御直被 仰合 日光御暇 吉良上野介

同 拝領物欠記 日光御暇 永井信濃守

同 同断 日光御暇

松平越前守内室頃日男子平産

奥 英勝寺奥へ參上伽羅一木五拾匁被下

十三日

時服五
御暇紀伊殿使者
安藤帶刀
同尾張中將殿使者
中村又藏

右於芙蓉之間老中列座御奏者番傳之

一朱座小田助左衛門宇野彦三郎御暇時服二被下之

十四日

紀伊中納言殿簾中安之宮御方年頭ニ大奥江被為入ニ付
為御迎鵜殿十郎左衛門被遣之

奥安宮江八丈嶋三十反筋天鷲絨五巻被下之

十五日

御先立御刀
共欠

已后刻御白書院江出御如例月御礼有之年頭之御礼
各太刀目錄

酒井左衛門尉

松平九十郎

松浦肥前守

真田伊賀守

松平長門守

有馬左衛門佐

岩城伊豫守

一柳土佐守

右は煩差合ニ付今日御礼也

時服三

銀馬代

松平大膳太夫家来御礼

毛利六郎右衛門

岡田十右衛門

脇本喜兵衛

岡部求馬

寶臺院

清見寺

可睡齋

本觀音寺

足利學校

中山茂兵衛

上林竹庵

右は甲府殿御祝言相濟ニ付而也

時服二

御暇高野惣代

福藏寺

蓮花寺

講之坊

上巖彌惣代

勢州淺野惣代

一金剛證寺

一遠國寺社之輩御礼有之

一松平越後守家来小栗大六岡崎老岐各銀馬代時服三ヲ

以參上御礼申上之

一松平大膳太夫家来毛利六郎左衛門右同斷

一相馬彈正家老岡田与左衛門脇本喜兵衛岡部求馬各銀馬代ヲ以御礼申上之是ハ家督ニ付而也

一紅葉山御宮御名代酒井雅樂頭

一十七日

一十八日

時服三羽折

同二羽折

右於躑躅之間土井能登守謁奏者番傳之

十九日

一日門へ為上使上秋伊勢守被遣之是知恩院御門跡薨去ニ付而也

廿日

上秋伊勢守

右知恩院御門跡去十二日薨御之由申来依之日光御門跡へ昨日為御悔被遣之

上野御堂

御名代

酒井雅樂頭

日光帰登

城吉良上野介

奥帰謁

一

廿一日

水谷新右衛門

村越三十郎

右日光御本坊御普請奉行被仰付之

御先手

柴田三右衛門

永見権七郎

間宮七郎兵衛

西九郎御留守居番

二条へ御暇

都筑惣兵衛

寶臺院

可睡齋

兩國造名代

長床坊丈

春御借米張紙出之

廿二日

酒井雅樂頭娘中川因幡守今日祝言相濟

一式日寄合堀田備中守出座

廿三日

廿四日

増上寺御名代酒井雅樂頭

日光婦

永井信濃守

右於御座之間御目見

廿五日

本所奉行

曾根源左衛門跡

同部隠岐守組

林権左衛門

右被仰付之

一青山信濃守組曾根源左衛門病氣ニ付本所奉行御免

廿六日

廿七日

廿八日

如例月出仕有之
就余奉甚為御養生出御無之
御目見無之謁老

銀百枚時服五

右御祈禱料被遣之由良信濃守を以

日光御門跡

廿九日

柳宮日次記

延寶八庚申年

二月御用番

朔日

午上刻御白書院

出御御装束
緋御装束年頭之御礼

御太刀

御劍

三束一卷
東叡山午玉巻敷
太刀目録
御奥品前之

御薫物

太刀目録
巻敷
二束二巻
御礼

右御礼畢

三束一卷

一束一卷

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

酒井彦岐守

内藤上野介

日光御門跡

妙法院御門跡使者

毘沙門堂御門跡使者

山門惣代

知楽院

長楽寺

喜多院

真光寺

千妙寺

信鮮院

觀理院

実成院

觀修院

自證院

信光明院

三井寺惣代

久遠寺

豐藏坊

護國院

寒松院

松高院

徳温院

吉祥院

常徳院

東漸院

三州

山寺

右御礼畢御次之間二天台宗。遠國之寺社数十人後座二

○普門院

修禪院

元光院

福聚院

真如院

常照院

林廣院

遠國

妙寿院

室藏院

如法堂

紅葉山

道入

宗悦

以下遠國寺社

太刀目録

扇子

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

駒込

保福寺

知楽院弟子

宮内卿

山王

日吉大膳

神田

柴崎宮内

寶勝院

圓珠院

明静院

養寿院

松林院

柏山寺

甲山寺

顯性院

一乗院

日光目代

山口忠兵衛

上野目代

田村權右衛門

久能目代

星野与右衛門

初番御目見

山口權六郎

日光御門跡家来

日光上野社家

高野道入

板坂宗悦

樂人九人

遠州見付町人

上村清兵衛

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

座二

右御勘定與頭被 仰付之

十二日

御黒書院 出御旧冬官位之御礼

時服十

金馬代

同

銀馬代

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

箱者

同

金五枚

同

松平淡路守

松平肥前守

本多中務太輔

牧野駿河守

相馬彈正少弼

木下肥後守

小出大和守

松平阿房守

松平筑前守

松平美作守

保科兵部少輔

松平但馬守

畠山民部少輔

由良信濃守

本多越前守

近藤縫殿助

有馬宮内

川口茂右衛門

土井周防守

秋元摂津守

阿部伊豫守

内田出羽守

伊丹大隅守

那須遠江守

酒井越前守

屋代越中守

三浦志摩守

金廿枚

御大刀

同十枚

太刀目録

同断

金馬代

酒井雅樂頭

稲葉美濃守

大久保加賀守

土井能登守

堀田備中守

十四日

弼右衛門弟

大岡喜右衛門

右大御番江御番入被仰付新規式百俵被下

日光御修理奉行

水谷新右衛門

村越三十郎

右日光御暇二付御朱印被下之

大久保八郎左衛門閉門御免後初登城

城

十五日

如例月出仕有之 御目見無之

昨夜雪二付

熱海江湯治御暇

松平三河守

在所御暇

堀田下総守

十六日 奥地震

金五枚

時服二羽折

大井新右衛門

右日光 御宮御修復出来二付被下旨老中列座奏者番

渡之

右願之通松平縫殿頭次男養子被 仰付之

本多忠左衛門

右七日

紅葉山 御宮 御名代大久保加賀守

十八日

十九日

御黒書院 出御祝言相済御礼

時服三

同四

同十

同四

同四

同四

同四

時ふく三

銀馬代

同

銀馬代

同

金五枚

時服三羽折

同

銀十枚

時服式ッ

銀十枚

時服三

羽折

鳥目ッ

一 福原内匠參府二付箱有差上之

廿日

上野御名代 土井能登守

廿一日

廿二日

細珍十卷

一荷二種

右帰國二付差上之

評定所寄合能登守

廿三日

病免

老免

松平右衛門佐

名代同前守

黒田甲斐守

毛利元丸

井上筑後守

初御目見

龜井松之介

越中守子

屋代半介

久留嶋信濃守次男

村上内記

信濃守養子

京極兵庫

二條御暇

板倉伊豫守

酒井下総守

両與頭八人

両組中

駿府へ御暇

御役所

大久保甚兵衛

初御目見

與左衛門子

難波田彦次郎

新十郎養子

飯河平四郎

与右衛門子

槽屋与左衛門

京都婦見

大沢右京太夫

松平信濃守使者

水野兵右衛門

町奉行

宮崎若狹守

御鉄砲頭

岡野内蔵允

佐渡奉行

曾根五郎兵衛

御納戸組頭

石川七左衛門

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

於御座之間御加増之御礼

十三日

奥土御門極蔭之使者御暇銀五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

右願之通御役御免

隠居料三百俵

弘文院

右願之通病氣隠居被 仰付跡式子春常被下之

奥千二百三十拾石^二

戸川主計堀主税知行御書出被下之

廿四日

増上寺 御名代 堀田備中守

廿五日

板倉伊豫守組頭

赤井五平次

右病氣願之通御役御免

仙石次左衛門

右盜賊改御免同組之者^江白銀廿枚宛三人^江被下之是

^者火附惡黨之者訴人仕候^二付也

廿六日

御暇

上使堀田備中守

松平与右衛門

銀五百枚
時服五十

同

大久保加賀守

宗 對馬守

銀三百枚
時服三十

右被下之

歳暮之御内書出之

廿八日

為御養生御礼延引

連歌師御暇時服白銀如例被下之

少々御不例老中夜五^ッ時過迄退出無之

奥 御一門方々同機嫌之使者差上之

廿九日

今朝は御快御膳被召上御機嫌克被成御座候

為御機嫌窺四品已上より使者上之

酒井伊豫守組

大番頭 飯河壽左衛門跡

板倉伊豫守組

大番頭 赤井五兵衛後

同

松平縫殿頭組

森川清十郎

大久保弥右衛門

右老中傳之

新御番頭仙石次左衛門組中御引渡有之

松平越後守針医

吉田一貞

被 為召登 城

晦日

柳營日次記

延宝八^{庚申}年

三月御用番

朔日

午刻御黒書院 出御

御暇

宗 對馬守

銀三百枚
小袖三十
〃五百枚
〃五十

上使堀田備中守

松平丹後守

御馬被下

同 大久保加賀守

松平讃岐守

同 御鷹被下

時服三十

小笠原遠江守

御馬

同 五羽折

小笠原土佐守

綿百把

金馬代

小笠原内匠頭

時ふく五

初御目見左衛門尉色

酒井小五郎

同

京都堀御目見

藤枝丹波守

上巳為御祝儀御両殿より二荷三種宛御三人方より

一荷二種ツツ進上之

例月御礼^ハ無之

二日

三日

午刻御白書院 出御 舘林殿甲府殿尾張殿水戸殿

御刀
内藤上野介

紀伊中将殿水戸少将殿次^ニ松平加賀守松平越後守

御礼畢^而

御白書院 出御松平左京太夫松平摂津守松平出雲守

松平伯耆守松平豊後守従是四品松平中務太輔飛騨

守有馬中務太輔織田伊豆守松平大學頭松平肥前守

右順々御礼過^而小笠原内匠頭を始在府之諸大名^并

知足院御礼過御次之間^ニ諸番頭諸物頭諸役人寄合

一同御礼参府各箱肴御代官諸星庄兵衛白田太郎兵

衛長谷川藤兵衛杵田八郎左衛門江川太郎左衛門長崎

町年寄天鷲絨十卷縮緬廿卷高嶋四郎兵衛筆百對

小法師石見

大廣間出御^{御羽折}於落縁阿蘭陀かひたん御目見

大卓二唐金獅子香炉二堆朱御刀箱一へつかふの燈

竈二縫の花もふせん一枚金入紗廿卷猩々緋三反黒
羅紗三反小羅紗五反羅背板五反奥嶋五十反さん
崩嶋五十反かせれあれしや嶋五十反白ちりめん五十
反海黄五十反 大金巾五十反飛紗綾三十反丁子油
一壺ちんだ酒ふとう酒一壺 かひたんあるふるふん

いひん

御白書院^江は出御無之御黒書院^江御三家方初例御白書院

院^江罷出分御目見畢^而御白書院へ渡御大廣間へ罷出分

御目見終^而大廣間へ出御阿蘭陀人御目見

四日

式日備中守出座

有栖川兵部卿二品幸仁親王昨夜當着^二付上使酒井

雅楽頭吉良上野介被遣之

佐野吉之丞

右盜賊改被 仰付之

五日

勅使院使當着^二付雅楽頭吉良上野介被遣之

去月晦日日光山大風烈吹候得共御宮 御佛殿は無恙由

注進之

六日

阿蘭人御暇時服三十被下渡辺大隅守青木遠江守立合時

服式通事へ被下

七日

午刻御黒書院 出御紅御装束御譜代大名御次^二伺公

御太刀
内藤上野介
御刀
米津周防守

禁裡より御太刀目録金三枚法皇より同断金式枚本院

より同断金式枚 新院より同断金老枚女御へ同断

金老枚中高十帖繻瑠老卷匂當内侍右公家衆持参

之

繻繻十卷
金馬代
さあや三巻
銀馬代

家督之御礼

有栖川殿

自分之御礼

花山院前大納言

千種大納言
梅小路中納言
高倉前大納言
平松中納言

同

使者を以年始之御礼

近衛殿 鷹司殿 二條殿 一条殿

青蓮院宮 円満院門跡 実相院御門跡

一 近衛殿使者^江繻繻十卷へ^一荷二種^二近藤修理亮是は^甲府

殿御縁辺相済^二付^而也

被任大僧正御礼一荷二種東本願寺使者横山主水於落

縁公家衆家来御冠師御装束師一同御礼御次之間^二而

御祓大緒式筋吉田侍從使者は鈴鹿石見守

奥 有栖川殿家来楊津左京大夫 御目見

一東一卷 御目見 柴田梅庵法橋

八日

勅使院使有栖川殿^江大澤右京太夫を以御樽肴被

遣之

浅草藏奉行

仰付之

右被

九日

明十日公家衆御馳走御能被仰付御見物可有之旨被

仰遣之

上使上秋伊勢守

勅使院使^江

由良信濃守

有栖川殿^江

内藤上野介

御兩殿^江

池田番刀

尾張殿

同

紀伊中将殿

同

森川摂津守

水戸殿

同

水戸少将殿

近衛殿使 近藤

小袖式ヲ被下

東本願寺使 横田

勅使院使^而有栖川宮兩山参詣有之

増上寺

御宮 御堂 吉良上野介
内藤信濃守 御佛殿 大沢右京大夫
二王門 石川主殿頭 山門 安藤對馬守
二天門 青山大膳亮 裏門 久世出雲守
車坂 松平備前守 松平山城守
板倉石見守

十日

有栖川殿打枝之御薰物被献之

辰刻公家衆登 城館林殿甲府殿水戸宰相殿紀伊

中将殿水戸少将殿御譜代大名詰衆御番頭物頭諸役人伺

公御能初^ル酒井河内守吳服渡同断三番過要脚廣蓋終

而御中入於席々饗應有之未刻御能畢^而各退去

公方様御機嫌克被成御座候得共為御養生出御不被遊

旨伺公之面々^江老中傳達之

尾張殿持病氣之由登 城無之

式三番叟 仁右衛門

高砂 三郎次郎 權右衛門 市郎兵衛 左吉 新十郎 市衛門

田村 七大夫 新之丞 介右衛門 七兵衛

井筒 宝生 源七 九郎兵衛 八郎右衛門

殺生石 七太夫 六右衛門 九郎次郎 彦九郎 庄兵衛

祝言 九郎 六郎次郎 兵右衛門 孫衛門 庄次郎 新右衛門

夷毘沙門 仁右衛門 墨ぬり 傳右衛門

十一日

時服式

銀十枚

時服老

同

受岩

大善院使僧

威徳院使僧

十二日

一式日能登守出座

一長崎奉行岡野孫九郎御役 御免

十三日

已刻御白書院 出御 御装束 勅答被 仰出之則御暇被

御暇長崎

高嶋四郎兵衛

小法師石見

大善院使僧

威徳院使僧

下之

御太刀

御刀

銀二百枚

銀百把

同

銀百枚

時服十

同六

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

酒井老岐守

米津周防守

花山院大納言

千種大納言

梅小路前中納言

高倉前大納言

平松中納言

近衛殿使者

齋藤信濃守

二條殿使者

隱岐修理亮

一条殿使者

保田内匠頭

廣庭中務少輔

廣司殿使者

青蓮院御門跡使者

谷 右近

右近法眼

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

十五日

御座之間

御手自御製斗帳被遣

時服廿

金馬代

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

參勤之御礼

尾張中將殿

尾 黃 門

御黒書院

御暇 戸田左門

松平對馬守

撰津守

出雲守

參勤之御礼

板倉隱岐守

北條伊勢守

小堀和泉守

三橋右衛門九郎

成瀬豐前守

中村又藏

成瀬吉兵衛

久野与五右衛門

戸田左門

御暇

御馬

時服二十

時服五

羽折

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

五ツツ

四

銀十枚四ツ

式

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

相國寺 恕長老

建仁寺 靈長老

東福寺 植西堂

竹生嶋 南明院

小野 吉祥院

宇佐大宮司 松梅院

立政寺

多田院

善法寺

實方院

總持寺使僧

竹之坊

三山惣代

玄成院

櫻池院

蓮明院

行人方

御暇

時服三

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

十七日

紅葉山 御宮

御名代

能登守

右日光御目代被仰付之

於山吹之間御慰之御能被仰付之

十九日

玉乃井

經政

源氏供養

威陽宮

國栖

羅生門

禪師曾我

三郎四郎 權右衛門

九郎 六郎三郎

保生 新之丞

七太夫 同 人

保生 權右衛門

九郎 源七

七太夫 新之丞

七郎兵衛

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

新右衛門

堀 山城守

市郎兵衛

新十郎 惣衛門

九郎次郎 庄兵衛

權九郎 七兵衛

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

新九郎 八郎右衛門

一 黒塚 七太夫 同人 市郎兵衛 左吉

小鍛冶 平右衛門 源七 兵右衛門 源介

包丁聲 仁右衛門 ひけ矢倉 傳右衛門

なきさ 仁右衛門 むんせん 仁右衛門

さくよう 市郎兵衛 ふくの神 傳右衛門

老武者 傳右衛門 瓜盗人 傳右衛門

芙蓉之間 伺公之御役人番頭計登 城辰下刻西湖之間

出御御能初^ル五番過御中入於御臺所上之間焼火之間

三之間御振舞有之

御黒書院瓜盗人は晩刻^ニ及無用之由被仰出無之

山吹間之次舞臺構之老中見物席薦ノ間

小十人番所檢ノ間医師之間御歩行番所樂屋被成

出仕面々不殘御玄關出入 猿樂之族中ノ口々出入

奏者番奉行役人大御番頭御書院番頭御小姓組番頭

新番頭中奥頭御徒頭小十人頭當番 詰番計登城御能

押見席薦ノ間

廿日 紀伊殿道中より使者御暇時服三山田傳兵衛

台陵 御名代備中守

廿一日 尾張中將殿より唐木之硯屏進上之

興正寺御門跡頃日死去

禁裏附石川彦四郎願^ニ付拜借金五百両被仰付之

近日狀況^ニ付^而也

廿二日 紀伊殿今朝到着^ニ付上段堀田備中守被遣之

式日出座備中守

廿三日

廿四日

増上寺 御名代 加賀守

一 佐州國分寺後住御礼謁老中時服式被下之

國分寺登 城謁加賀守束本献上之 右佐州^ニ順徳院

御廟所有之^ニ付右境内五十間四方御寄附則別當

被仰付^ニ付為御礼被下 御目見可仕処御席無之故也

廿五日

御手自御熨斗袍 銀五百枚

右^ニ付紀中特及尾黃門水 時服三十

參儀^ニ松平左京太夫等拜謁

御黒書院 湯治場

箱着 時服五

金馬代 同三

銀馬代 同二

時服十

同四羽折

金三枚 時服貳

金二十両 時服三羽折

同三 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 銀馬代

同 大坂御金奉行 寛 五郎太夫

縁重半之丞跡 三百俵御加増

御小姓組与頭 荒川出羽守組 徳永頼母

鳥居源七郎跡

右被 仰付之

廿六日

御小姓組七十六人御書院番六十八大御番六十式人小十

人組廿四人

右三^ヶ年勤之面々當夏より御切米被下旨被仰渡之

一御書院番三年勤

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一水野長門守組

一松平内匠頭組

山崎權八郎

小尾長十郎

瀬名權之助

渡辺兵九郎

日下部七郎兵衛 三輪五郎兵衛

合六拾人

一御小姓組三年勤

一石川市正組

林 藤助

川井惣十郎

永井傳左衛門

佐久間源兵衛

三好教馬

匂坂孫六郎

馬場源七郎

山下勘右衛門

一内藤上野介組

織田藤九郎

石川左京

山口孫三郎

松崎權七郎

伊丹与次右衛門

猪飼三郎左衛門 西山半右衛門

一酒井老岐守組

久永半之丞

渡辺久太郎

正木甚之助

久松忠次郎

筒井平太夫

長田小左衛門

大久保左門

一青山信濃守組

設楽市左衛門

本多半之丞

川勝与一郎

多門平次郎

佐野宇右衛門

長田甚左衛門

鳥居彦太夫

水野甚右衛門

一米津周防守組

中山助六郎

大井庄十郎

大岡兵右衛門

曾我弥五八郎

松平新三郎

本間平左衛門

土屋平十郎

金森平右衛門

一瀧川若狭守組

丸毛勘左衛門

坂本久五郎

井上半十郎

三枝左衛門

竹内新五郎

新庄源左衛門

蜂屋喜三郎

天野五左衛門

高木貞右衛門

一朽木和泉守組

進上内匠助

羽太太夫

曾我三右衛門

能勢助右衛門

岡部孫市

秋浦友右衛門

坪内久太夫

松波甚兵衛

一大久保豊前守組

三枝十兵衛

大岡十郎右衛門

岡部七左衛門

牧又十郎

河田主税

彦坂甚十郎

川口内匠

一森川摂津守組

新庄三郎左衛門

箕太郎兵衛

伊東安左衛門

齋藤弥左衛門

安部權四郎

鈴木主税

加藤半左衛門

一大草主膳正組

秋山平十郎

松平又四郎

山田半助

平井吉右衛門

間宮忠兵衛

安藤郷右衛門

蒔田理左衛門

合七拾六人

一大御番三年勤

一酒井伊与守組

川井平吉

河野源兵衛

一武田越前守組

木村孫次郎

日下半左衛門

廣戸半右衛門

竹内平右衛門

柘植傳右衛門

服部十太夫

一本多淡路守組

小林三右衛門

小尾吉左衛門

小笠原彦兵衛

遠山權八郎

丸茂千左衛門

山上内藏助

服部半兵衛

西尾藤右衛門

一稻垣備後守組

加藤平九郎

寛源五兵衛

小林十六郎

田沢八右衛門

田中吉右衛門

一植村土佐守組

鳥居市三郎

雨宮金五郎

成瀬宇右衛門

加茂宮与兵衛

石川勘二郎

鈴木彦三郎

石川百助

一松平縫殿頭組

松波六郎左衛門

水野八郎左衛門

大谷市右衛門

西山三左衛門

川勝千右衛門

遠山平太夫

中嶋傳五郎

小林權平

一永井佐渡守組

水野庄八郎

鈴木李助

一堀田對馬守組

水上左太夫

小長谷半十郎

西山太郎兵衛

國領七郎右衛門

本多彦右衛門

大沢十兵衛

一水野周防守組

永田弥兵衛

竹内十藏

大岡二郎太夫

門奈太郎助

一田中大隅守組

寛新三郎

田村源右衛門

土屋半左衛門

五藤右門八郎

深尾八郎五郎

阿部八郎兵衛

高屋傳八郎

寛小左衛門

幸田五左衛門

辻太郎助

瀬名平左衛門

松平友之助

秋山六郎左衛門

合六十式人

（日次記は小十人組）

一 一小十組三年勤

一山岡十兵衛組

建部彦左衛門

沢平兵衛

一市岡左太夫組

窪田惣兵衛

寛新五右衛門

一松平彦兵衛組

小嶋源兵衛

上田伊兵衛

笹山七郎右衛門

本間小十郎

一阿部忠右衛門組

石原彦右衛門

鈴木源五右衛門

漆戸左助

紅林源太夫

一秋山源左衛門組

浦野喜右衛門

庵原金右衛門

小宮山三郎兵衛

三橋牧左衛門

一渥美九郎兵衛組

大岡七右衛門

山中藤十郎

幸田庄次郎

一細井金五郎組

山梨弥八郎

一田中作兵衛組

中嶋喜右衛門

一秋田平太夫組

國領五郎左衛門

一三嶋清左衛門組

建部三四郎

牛奥甚之丞

都合式拾四人

廿七日

瀧川若狭守組御小姓組与頭

徳川頼母^江組中御引渡有之

尾黄門へ^上使加賀守国元へ御暇被仰遣

御前^三雅楽頭美濃守加賀守御加増之領知御書出頂戴之

廿八日

尾張殿^江昨日上使大久保加賀守を以御暇為御礼登

城於西湖之間御料理於御座之間御吸物出之御盃頂戴之御

鷹三連御馬三疋拝領之

御黒書院 出御參勤御礼

時服五

銀馬代

松浦老岐守

右差上之何れも順々拝謁米津周防守御吸物米津周防守御酒小出下野守御肴出之瀧川相模守御盃雅楽頭へ被下之肴御手自被下且拝領物稲葉美濃守御取合次河内守御熨斗炮御手自被下且脇差被下雅楽頭より御刀献上畢而日向守御目見酒井河内守御杵折一合御肴一種献上之右畢而御書院出御白洲舞臺張之御慰御一興有之上覽過而未刻帰御

一懸御渡於御座間雅楽頭御礼河内守下野守出仕謁老一二丸へ老中不残御先へ相越松平因幡守石川美作守内藤若狭守三枝摂津守稲葉石見守其外供奉
両町奉行御作事奉行御目付三人新番仙石次左衛門組勤仕御前置二丸御徒當番之輩二丸御座間其外所々御座敷御茶屋迄雅楽頭道具飾之

（御腰物左文字代金七十枚
銀三百枚時服二十）是は御勝手二番老中申渡
（御脇差高木貞宗代金卅枚
時服十）同断
（時服五）同断
御目見計

酒井雅楽頭江
酒井河内守江
酒井下野守江
酒井日向守江

右拝領物被 仰付之

雅楽頭家来四人
箒屋左平
吉田猪兵衛
関友之助
上田五太夫

右被下之

御表江出御土佐操御遊覧御機嫌克八半時還御

右恐悦御家紋使者被献

十一日

稲葉美濃守江近日於二丸御膳可上旨被 仰付之

上使大久保加賀守
松平越前守
上松弾正大弼

右到着に付被遣之

上使土井能登守
松平土佐守

右同断

松平與右衛門御加増之御書出被下之

十二日

式日備中守出座

畠山民部太輔

阿部對馬守

石川若狭守

右日光御暇

十三日

右到着に付被遣之

一 甲府殿日光江發足之由

一 石清水八幡御祈禱之御礼差上之○

十四日

右到着ニ付被遣之

甲府殿昨日發足ニ付道中へ宿次奉書

一 甲府殿日光江參詣に付道中迄朝岡權三郎上使ニ被遣之旨被仰付

十五日

箱者 病後
松平相模守 十五

參勤

織田山城守 一

松平土佐守 二

井伊玄蕃頭 四

松平安藝守 五

松平越前守 六

上松弾正大弼 七

佐竹右京太夫 三

毛利甲斐守 八

伊東信濃守 十一

九鬼大隅守 九

一柳山城守 十

征矢二百筋 十二

朽木監物

同 泥陣三懸 十三

同 信濃水指二 申

縮纏廿卷 松平讃岐守使者

一荷二種 牛窪勘兵衛

ろうそく二箱 松平越前守家来御目見

銀馬代 松平庄兵衛

箱者 駿府より參府

金五枚 京御暇

時服三羽折 山口老岐守

上使土屋相模守

森伯耆守

十六日

一 甲府殿日光掃路ニ付至壬生旅館迄 上使朝岡權三郎熨斗

一 保科筑前守參府ニ付 上使御使番

十七日

甲府殿帰府之道中へ宿次奉書

紅葉山 御名代 雅楽頭

一 遠州可睡斎後住ニ白井之雙林寺寅朔被 仰付之

（日次記は時服表） 京大善院

（日次記は同式ツツ） 加茂社人 林主馬

同 山本圖書

近日於二丸御膳被献之旨大久保加賀守へ被仰出

奥 甲府殿日光山發足ニ付道中迄奉書被遣

十八日

已后刻二丸江被為 成御能 上覽

今日稲葉美濃守於二丸御膳献上ニ付辰下刻 御成御熨斗炮
出美濃守拝謁献上物披露同丹後守主水大字順々御礼献
出羽守
物有之米津周防守御吸物御酒内藤上野介御肴出御盃

美濃守頂戴御肴御手自被下御刀拝領

次丹後守御熨斗炮御手自被下御小刀拝領

次御勝手ニ銀時服等美濃守被下外四人時服被下一同御礼

次美濃守御刀献上

次丹後守秋重一組御肴一種御内證へ被献之
済御書院出御御能有之

式三番 仁右衛門

難波 七太夫 樫右衛門

清経 九郎 源七

杜若 保生 新之丞

龍虎 七太夫 六郎次郎

鷺 久米助 樫右衛門

祝言 九郎 六郎次郎

末廣 仁右衛門 水きん賀 傳右衛門

つとふ山伏 仁右衛門 本多はら 市郎兵衛

なるこ 仁右衛門 張良 御乞能也

御能畢相催之術藝被遊 上覽

御礼献上物

御刀備前長光代金三十枚

時服十緒百把金馬代

右之外替鳥五色上々

奥 右披露河内守

時服五金馬代

銀馬代

同

同

拝領物

奥御座之御
栗田口御刀久國代金五十枚

時服二十絛二百枚

御脇差相州廣光代金廿枚

時ふく六

時ふく五

同

同

時ふく三

同

同

還御

右被下之申下刻

上使久世出雲守

丹羽若狭守

右被遣之

二丸御座敷御茶屋に美濃守所持之道具飾之

老中御先石川美濃守内藤若狭守三枝摂津守稲葉石見
守等供奉

新番御前置等先日之通御徒當番計新番遠山半左衛門組

還御後美濃守 御座間御礼其外へ出仕謁老

御一門使者被嘉之

十九日

朝岡權三郎掃參謁老

奥 大久保加賀守 於二九近日御茶可上旨被仰出之

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

千代姫御方へも被遣之

御鷹之梅首鶏五ツ

廿日

上野御堂 御名代 酒井雅楽頭

甲府中将殿日光道中之上使為御礼戸田又八差上之

一

右日光帰於御座之間 御目見

廿一日

甲府殿昨晚御帰府ニ付上使内藤若狭守被遣之

御鷹之梅首鶏五ツ

時服式

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

松平伊豫守娘
松平三河守 江

右縁組被仰付之

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

御鷹之梅首鶏五ツ

同安藝守 同淡路守 井伊玄蕃頭
一於夜陰平家被 仰付

廿七日

於二九加賀守御膳献上^ニ付 御成御式如先日御熨斗御吸物
御肴内藤御盃御酒米津

已后刻二九^江被為 成操御見物梵天國吊屋永閑

御礼献上物

御刀栗田口國清代金三十枚
羅紗十間金馬代時服十
時服五金馬代
銀馬代
大久保加賀守
大久保安藝守
大久保帶刀
宇津大學

奥 右披露土井能登守

拝領物

御刀備前守家代金五十枚
時服十銀二百枚
御小脇差城州信國代金十五枚
時ふく六
時ふく五
大久保加賀守
大久保安藝守
大久保帶刀
宇津大學

御熨斗出 御目見献物披露次安藝守同断次帶刀大學御

礼御酒御吸物で御盃頂戴御肴御手目被下刀拝領御次

^ニ番 外四人時服拝領一同御礼安藝守へ小刀被下次加賀

守へ御刀被下御礼枕折一合御有一種安藝守献之右畢^馬御

書院 出御風流 上覽御座之間其外御茶屋迄加賀守所

持道具飾附

時ふく三 加賀守家來
服部清兵衛

同 渡辺十郎左衛門

同 加藤孫太夫

右被下之酉刻 還御

一二九へ老中松平因州石川作州御先内藤若州三枝撰州

稲葉石州其外供奉

一新番天野甚左衛門組共御前置二九御徒當番 還御後

安藝守其外登 城謁老

御一門方使者被賀

廿八日

御養生御延引及今日 館宰相も拝謁參勤御暇面々^ハ 拝謁
無之謁老

銀二百枚
銀々緋十間

同百枚
銀二百把

銀百枚
銀々緋十間

銀百枚
銀馬代

御馬三疋
金馬代

金馬代
緋百把

時ふく十
同

同
満皮廿枚

銀馬代
時ふく五

同
二衛三種

金馬代
百枚

和歌一箱
らうそく千丁

御肴一種
尾州著^ニ付

御鷹 御馬
銀百枚時服三十

同断
時ふく三十

御馬
同二十

銀百枚
時ふく十

同
同断

時服十
銀五十枚

時服十
同百枚

同
同五十枚

同
同百枚

同五
同五十折

同五十枚
同四羽折

時服四羽折
時服四羽折

日光御礼
甲府中将殿

參勤
森 伯耆守

丹羽若狹守

松平隱岐守

松平和泉守

南部大膳太夫

脇坂中務大輔

藤堂佐渡守

鍋嶋摂津守

遠山和泉守

保科重四郎

尾張殿使者
渡辺半藏

自分之御礼
安部丹波守

參府
保科筑前守使者

鈴木三郎九郎

河村次郎兵衛

松平越後守

同 土井能登守
松平出羽守

伊達遠江守

有馬中務太輔

松平中務太輔

中川佐渡守

津輕越中守

稲葉右京亮

戸沢能登守

黒田甲斐守

有馬周防守

秋月佐渡守

木下右衛門太夫

久留嶋信濃守

織田信濃守

大坂加番御暇
安部摂津守

松平越後守家來
岡嶋老岐

右献上物拝領物有之御目見は無之

佐渡奉行 御加増二百石
曾根五郎兵衛跡

右被 仰付之

梅首鶏五ツ

松平大和守 織田山城守 上秋彈正少弼

廿九日

水戸殿へ仕立書物被差上之

公卿補任補闕一冊一代要記十冊

扶桑拾葉集 三十三冊

土井能登守^江於二九近日之内御膳可上旨被 仰出之

一 甲州於御座之間平家被 仰付

一 おたまき 上田検校 越中前司 近藤検校

梅首鶏五ツ

保科筑前守 毛利甲斐守 松平飛騨守

有馬中務大輔 森伯耆守 丹羽若狹守

松平若狹守 松平肥前守 森内記

御座間^ニて

同断五ツ 拝領 雅楽頭 美濃守

三ツ 加賀守 能登守 備中守

駿府^上御暇
本多忠左衛門

鈴木三郎九郎